

自分はいつも卓球の試合で緊張して負けることが何回かありました。それで自分のことは緊張するダメな人間だと思っていました。でも、この講演を聴いて、プロの人でも緊張して失敗することがあると思って、少し安心しました。それに緊張しても『上手にやりたい!』と思えば、上手いくというのでとても安心しました。とてもいい講演会でした。

(1年生 男子)

私も一つ達成したことに満足し、そのまま終わってしまっていたことが多かったので、これからは達成した次のことを考えて努力を積み重ねていきたいと思いました。『緊張をプラスに変える』ということを知り、とても心に残り、緊張をプラスに変えていろいろなことに挑戦してみたいと思いました。他の人より損はあるかもしれないけれど、それは自分が通らなければいけない道があるということを知り、つらいことでも逃げずに貫き通せるような人になりたいです。

(1年生 女子)

私は「病気になるなかつたらここまで来られませんでした。」という言葉にすごく心を打たれました。大きな挫折をしたから終わりではなく、そこから自分ができると思ったら、もうスタートしているんだと知りました。私も失敗してもそこから再スタートし、「失敗を味わったから成し遂げることができた」と言えるように頑張りたいです。あと、緊張はいつもは悪い意味にとらえていて、緊張したらすごく焦ってしまったけれど、『自分への挑戦の切符』と聞き、緊張したときにはもう少しよくとらえたいです。そして、「うまくなりたい」といいイメージを想像して、自分に自信をもつようにしたいです。

(2年生 女子)

講演を聴いて、鈴木明子さんが言っていた『結果のその先を考える』ということが特に心に残りました。僕はテニスをやっていて、大会になると結果のことを考えて緊張してしまい、ミスばかりしてしまいます。しかし、この話を聴いて結果ではなく、その後の喜びなどの達成感や思い出が重要だということが分かりました。これからは試合中に試合のことだけを考えずに、何か月も練習してきたという自信をもって臨みたいと思います。

(2年生 男子)

オリンピックに出るような人は、みんながみんな才能があって、何をするにもすぐできるというのは全く違うということが改めてよく分かりました。『少しずつ積み重ね、ひとつずつ目標をクリアし、その先を見る。』単純なようで難しい、そんなことを今まで行ってきたからこそ、オリンピックへと進め、すごい成績を残せたのだなあと思いました。これから私達は受験で高校へと進む人が多いと思います。目標を立て、その先を見て、そして一つ一つクリアしていく。それが一番大切なのだと気づきました。今回の話を聴いて、『夢は努力で叶う』と希望が出ました。頑張っていきたいと思っています。

(3年生 女子)

今日の講演を聴いて思ったことは、最初から諦めるのではなく、努力し続けることは大事だということです。鈴木さんは病気になってしばらくスケートができないことがあったと言っていました。その時のことを悔い続けたという経験は、自分にも同じようなことがあったので、とても心に残りました。その時は、全然前向きになれませんでした。みんなは部活の大会に出たり練習したりしているけれど、自分だけが何もできず、自分を責め続けました。でも今日の講演を聴いて、改めて前向きに努力することは大切だと感じました。

(3年生 男子)